

子どもミーティング 2013
このまちにとどけ、私たちの声！



イラスト:ふわふわり

まちづくりの提言

鹿児島市子どもミーティング

— も く じ —

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 事業の趣旨 | 2 |
| 2. 開催状況 | 2 |
| 3. 講師・サポーター | 2 |
| 4. 活動状況 | 3 |
| 5. 提言 | 13 |
| ①ボランティアセンター | 14 |
| ②鹿児島市勤労者交流センター(よかセンター) | 15 |
| ③鹿児島市すこやか子育て交流館(りぼんかん) | 16 |
| ④生涯学習プラザ・男女共同参画センター (サンエールかごしま) | 17 |
| ⑤かごしま環境未来館 | 19 |
| ⑥鹿児島ふれあいスポーツランド | 20 |
| ⑦鹿児島市観光農業公園(グリーンファーム) | 21 |
| ⑧鴨池公園野球場 | 23 |
| ⑨鴨池公園水泳プール | 24 |
| ⑩鹿児島アリーナ | 25 |
| 6. 子どもミーティングに参加して | 26 |

1. 事業の趣旨

次世代を担う子ども達が、鹿児島市のまちづくりについて、アイデアを出し、夢を語り合い、意見交換を行うもので、子ども達の意見をまちづくりの参考にすることで、若い世代の市民参画を推進する。

2. 開催状況

第1回平成25年7月13日(土) 9:00~18:00 於:鹿児島市役所 東別館

- ①趣旨説明・オリエンテーション
- ②講演 ~まちづくりの先進事例に学ぶ~
「杉並区の中高生のためのまちづくりについて」
- ③まちづくり探検(施設見学)

第2回平成25年8月17日(土) 9:00~16:00 於:かごしま市民福祉プラザ

- ①まちづくり探検(施設見学)のまとめ
- ②提言のための協議
- ③まとめ・発表

3. 講師・サポーター

【講師】

東京都杉並区保健福祉部児童青少年課主査 宮代 哲男 氏

【体験発表者】

ゆう杉並 中高生運営委員OB 大杉 一輝 氏

【サポーター】

NPO 法人かごしま探検の会 東川 美和 氏

かごしま子ども文化の里 柿木 淑江 氏

大和 たつ子 氏

NPO 法人地球環境フォーラム鹿児島 塩川 哲郎 氏

塩川 由希子 氏

大学生サポーター 瀬戸 山智 氏

森岡 美和 氏

4. 活動状況

(1) 講演 ～まちづくりの先進事例に学ぶ～ 「杉並区の中高生のためのまちづくりについて」

中高生が文化や芸術、スポーツなど自主的な活動をし、生き生きと交流できる居場所である杉並区児童青少年センター「ゆう杉並」の立ち上げや運営に関わってきた方をお招きして、中高生によるまちづくりについてのお話を聴きました。

講演：中高生による中高生のための中高生専用児童館「ゆう杉並」

講師：杉並区立児童青少年センター 主査 宮代哲男 氏



体験発表：ゆう杉並・中高生運営委員会について

発表者：第16期中高生運営委員会 委員長 大杉一輝 氏





講演・体験発表を聴く子どもミーティング参加者

ゆう杉並という施設ができるまでの経緯、また、施設の運営に試行錯誤しながら取り組む中高生運営委員の活動のようす、心構えなどを熱心にお話しいただきました。子どもミーティング参加者の皆さんは、「中高生が本気でまちづくりに取り組んでいく」というお話に自分たちも鹿児島市のまちづくりに真剣に関わってみようという気持ちをもったようでした。

(2) ワークショップ「鹿児島市のまちづくりに私たちの声を届けよう」その1
3グループに分かれて、自己紹介、講演の感想など意見交換しました。

参加者全員の
自己紹介



Aグループ



Bグループ



Cグループ



(3)まちづくり探検「行って・見て・聞いてみよう！鹿児島市の施設」

Aグループ

ボランティアセンター



鹿児島市勤労者交流センター



鹿児島市すこやか子育て交流館



生涯学習プラザ・男女共同参画センター



Bグループ

かごしま環境未来館



鹿児島ふれあいスポーツランド



鹿児島市観光農業公園



Cグループ

鴨池公園野球場



鴨池公園水泳プール



鹿児島アリーナ



(4) ワークショップ「鹿児島市のまちづくりに私たちの声を届けよう」その2

見学してきた鹿児島市の各施設の目的、概要、活用状況などから感じたこと、興味や関心を持ったこと、改善・提案したいこと、施設を活用してやってみたいことなどを個人でまとめました。



7月13日の参加者



(5) ワークショップ「鹿児島市のまちづくりに私たちの声を届けよう」その3

前回の各施設を見学したメンバーの感想や意見、提案をグループで1枚にまとめて、全員に施設毎のまとめを発表しました。

A グループ



B グループ



C グループ



A グループの発表



B グループの発表



C グループの発表



(6) ワークショップ「鹿児島市のまちづくりに私たちの声を届けよう」その4

グループ毎に「各施設の活用度UP」を共通テーマに提言のための意見交換を行い、まとめました。

A グループ



B グループ

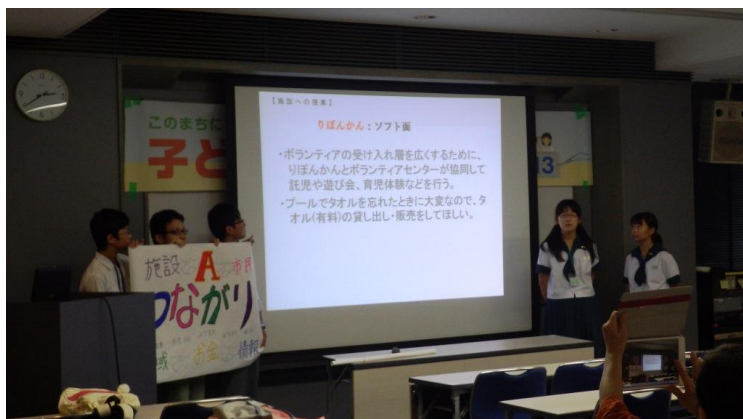


C グループ



(7)発表・質疑応答

A グループの発表



B グループの発表



C グループの発表



5. 提言

Aグループの提言

- ①ボランティアセンター
- ②鹿児島市勤労者交流センター
- ③鹿児島市すこやか子育て交流館
- ④生涯学習プラザ・男女共同参画センター



| | |
|-------|------------|
| 鹿島 頌太 | 鹿児島中央高校 2年 |
| 篠塚 愛実 | 南中学校 1年 |
| 肥後 佳知 | 城西中学校 2年 |
| 三浦 若葉 | 鹿大附属中学校 1年 |
| 山下 夏生 | 鹿大附属中学校 1年 |
| 東川 美和 | 先生 |
| 瀬戸 山智 | サポーター |

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| 施設名 | ①ボランティアセンター | |
| 施設を見て感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・清潔感、開放感があり明るい雰囲気がある ・幅広い年代の人たちが使いそう | |
| 施設の目的や方針を聴いて感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・情報を収集発信するだけでなく職員も自らボランティアを行って、市民と職員が一体となってボランティアをしていた ・知名度が低いと思うので、もっとPRをしてボランティアをする人が増えてほしいと思った | |
| 施設の活用状況プログラムで関心や興味があったもの・感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座は「ボランティアとはどういったものなのか」を伝える講座、ボランティアの意味を伝えられると同時にボランティアセンターの知名度も上げられるので良いと思った ・サマーボランティア体験 <ul style="list-style-type: none"> →「託児ボランティア」「障害者の援助」などのボランティア ・ボランティアを必要とする人の面倒をみたり、観光客のガイドをしたりするあくまでボランティアなので気軽にできる | |
| 施設を活用してやってみたいこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア体験 ・障害者や高齢者の体験 ← ボランティアを必要とする側の体験 | |
| より効果的に活用してもらう為の工夫・改善の提言 | 設備・ハード面 | <ul style="list-style-type: none"> ・1日中通して活動できるように、売店を作る ・車椅子の行き来がし辛いので、机や椅子の設置間隔を十分にとる ・中高生が気軽に参加できるように、中高生ボランティアルームを設置する（活動例：ベルマークなど） |
| | 内容・しくみ・ソフト面 | <ul style="list-style-type: none"> ・中高生などの若年層の人が進んで来られるような、「行けばすぐ出来る」「いつでも出来る」ボランティアを増やす ・ボランティアについて幅広く知ってもらい、参加してもらえよう、ボランティアの依頼を学校や町に掲示する ・誰でもすぐ車椅子を使えるように、使い方をわかりやすく掲示する ・もっと中高生が来やすくするために、ボランティア以外のサービスを増やしたほうが良いと思う |

| | | |
|---|---|---|
| 施設名 | ②鹿児島市勤労者交流センター (よかセンター) | |
| 施設を見て 感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・廊下が広いなど、利用しやすい空間である ・自由な感じ ・きれい、広い、窓が大きい ・階段が急 | |
| 施設の目的や方 針を聴いて 感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・体育館やジムなどがあって良いが、中高生が使用できないのは残念 ・中高生から見ると空気が気まずく、利用しづらい ・家族での娯楽は微妙な感じ ・中高生が使えるように利用者の範囲を広げてほしい | |
| 施設の活用状況 プログラムで関心 や興味のあったも の・感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンや雑誌の利用状況 ・その部屋毎に使う人が限られているのは… ・体育館を開放的に | |
| 施設を活用して やってみたいこと | <ul style="list-style-type: none"> ・特になし | |
| より効果的 に活用して もらう為の 工夫・改善 の提言 | 設備・ハード面 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設内が暗く、居づらいので、照明を多めにする ・明るいBGMにする ・7～8階への階段が急なので段差を緩やかに上りやすくする |
| | 内容・しくみ・ソフト面 | <ul style="list-style-type: none"> ・初めて利用する人がわかりにくいので、施設利用のルールを見やすい位置に表示する ・若者向けの雑誌をおく ・娯楽を将棋と囲碁だけでなく、幅広い年齢層に対応させる <p>※中高生が使えることを前提として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けの設備も充実させる(机の数を増やす) ・子どもでも使えるよう、週一で子どもたちにも開放する時間を設ける ・日曜だけ中高生に開放する |

| | | |
|-----------------------------|--|---|
| 施設名 | ③鹿児島市すこやか子育て交流館 (りぼんかん) | |
| 施設を見て感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・幼児等に衛生的、安全な環境 (エレベーターは閉じる部分が光り、安全・安心) ・幼児数(利用者)が多い → 気軽に行ける!! ・男性(父親)でも気軽に行ける!! | |
| 施設の目的や方針を聴いて感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達への教育がすごい ・親目線の設備や利用者の声をもとにより使いやすく!! ・託児サービスなどは保育所などと良く似ている | |
| 施設の活用状況プログラムで関心や興味があったものの感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな工夫や設備が、見ていてワクワクした ・値段(託児サービス)は安い? 高い? よくわからなかった ・無料の設備 ・衛生面が優れている | |
| 施設を活用してやってみたいこと | <ul style="list-style-type: none"> ・日光の下でも子どもたちを遊ばせたい! | |
| より効果的に活用してもらう為の工夫・改善の提言 | 設備ハード面 | <ul style="list-style-type: none"> ・ぐずった赤ちゃんのために、お菓子や食べ物が買える売店を設置する ・水道の蛇口の数少なくよく混むので、大人用・子ども用の設置数を増やす ・子ども用の低い手すりをつける ・子どもが太陽の下で遊べるような場所を設置する |
| | 内容・しくみソフト面 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊んでいる間、母親や付添も有意義に過ごせるよう、大人向けの本や雑誌などを置く ・中高生のボランティアも受け入れてほしい (大学生から受け入れるサマーボランティア等) ・ボランティアの受け入れ層を広くするために、りぼんかんボランティアセンターが協同して託児や遊び会、育児体験などを行う ・プールでタオルを忘れたときに大変なので、タオル(有料)の貸し出し・販売を行う |

| | | |
|---|--|---|
| 施設名 | ④生涯学習プラザ・男女共同参画センター (サンエールかごしま) | |
| 施設を見て 感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・広くて綺麗だけれど、せっかくある部屋の目的や情報が分かりにくい ・もっと活用できそう | |
| 施設の目的や 方針を聴いて 感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・サンエールの本来の意味、男女共同参画の意味が分からない ・イベントなど自由に施設を利用できる点は良かった | |
| 施設の活用状況 プログラムで関心 や興味があったもの の感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンが自由に利用できること ・小さな子どもたちの遊び場があるのは良かった | |
| 施設を活用して やってみたいこと | <ul style="list-style-type: none"> ・イベントが少ないから、中高生向けのイベントを増やしてほしい ・もっと情報を広げてほしい | |
| より効果的に活用して もらう為の 工夫・改善 の提言 | 設備・ハード面 | <ul style="list-style-type: none"> ・バスなどを通して交通アクセスをよくする ・静かで空気が重いのでBGMを流す ・長時間利用できるように売店・飲食スペースの設置、充実をはかる |
| | 内容・しくみ・ソフト面 | <ul style="list-style-type: none"> ・自習室の利用者も多いので、飲食コーナーの充実を図る ・幅広い年齢層(中高生以上・家族)を呼び込むために多様なイベント、講座を企画する ・各部屋の目的を明確にするため、利用する目的に応じて階を分ける ・施設の内容、目的をもっと明確に表示する ・内装がすっきりし過ぎているので展示物(絵・音楽等)を募集し、コンテストを開催、展示する |

Bグループの提言

- ⑤かごしま環境未来館
- ⑥鹿児島ふれあいスポーツランド
- ⑦鹿児島市観光農業公園



| | |
|---------|------------|
| 入江 剛 | 鹿児島高校 2年 |
| 上 畠 大 愛 | 鹿児島女子高校 3年 |
| 桑代 明 歩 | 鹿大附属中学校 1年 |
| 末原 ありさ | 鹿児島女子高校 3年 |
| 杉 采 香 | 鹿児島玉龍高校 2年 |
| 中澤 佑 哉 | 鹿大附属中学校 1年 |
| 福元 千乃 | 鹿大附属中学校 1年 |
| 邊木 蘭ひかる | 鹿児島中央高校 1年 |
| 柿木 淑江 | 先生 |
| 塩川 哲郎 | 先生 |

| | | |
|-----------------------------|-------------|--|
| 施設名 | | ⑤かごしま環境未来館 |
| 施設を見て感じたこと | | <ul style="list-style-type: none"> ・自然の力を利用した作りになっている ・風力、太陽光発電に積極的に取り組んでいて、自然を利用したシステムも展示の一つになっている |
| 施設の目的や方針を聴いて感じたこと | | <ul style="list-style-type: none"> ・漂流物や鹿児島市から出るごみ処理費用の展示は、初めて見ると迫力があっていいと思うが、何度も行くと飽きてくるので、3ヶ月に1回展示の一部を変えた方がいいと思う |
| 施設の活用状況プログラムで関心や興味があったものの感想 | | <ul style="list-style-type: none"> ・教室でスクリーンを使って環境に関する映画を観られるのがいいと思う ・長時間過ごすには退屈だと思う ・利用者が小学校の中学年以上に偏っているので、幼稚園児や小学校低学年も楽しめる展示をするべきだと思う |
| 施設を活用してやってみたいこと | | <ul style="list-style-type: none"> ・2階のスペース(多目的ホール)を使って映画鑑賞や、中学生向けの講話をすればスペースを有効活用できると思う |
| より効果的に活用してもらう為の工夫・改善の提言 | 設備・ハード面 | <ul style="list-style-type: none"> ・かごしま環境未来館の前にバス停を作るなどして、公共交通機関で来ることができるようにすれば来られる人が増えると思う ・外観ににぎわいがいがないので、バス停を設置する、花や木をもっと植える ・子どもへの引きつけがないので、噴水や遊具などを設置する ・駐車場や入口が分かりにくいので案内板を設置する ・展示物が常に同じなので、3ヶ月に1回は展示物を変えるようにする |
| | 内容・しくみ・ソフト面 | <ul style="list-style-type: none"> ・水族館のように、2~3ヶ月ごとにテーマや季節に沿ったイベント・特集を実施すれば人が増えると思う ・幼児が興味を持つ展示がないので、中に小さい子が遊ぶスペースを設ける ・小さい子が説明を読むことができないので読み仮名をつける ・説明が文字だけで分かりにくいので、絵や図を説明の横につけるようにし、漫画などを取り入れる ・環境の取り組みの例がわかりにくいので、体験ができるようにする |

| | | |
|-----------------------------|--|---|
| 施設名 | ⑥鹿児島ふれあいスポーツランド | |
| 施設を見て感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・窓ガラスが大きく明るい(照明がいらない) 紫外線防止加工している ・年間13万人の利用者がある ・桜の木がたくさんあった ・広場は芝生 → 環境にとっても優しい ・太陽熱温水器でお湯をつくり、床暖房にも活用している | |
| 施設の目的や方針を聞いて感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・天然水の室内プール → プールを外から見られるため、親は安心 ・有料施設は曜日ごとに組まれている ・ジムは高校生以上からの利用である → 安全面のため？ | |
| 施設の活用状況プログラムで関心や興味があったものの感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・1日1000～2000人の人々が利用している ・無料の和室休憩室 → おいしいお茶も無料！ ・有料施設のレッスンの申し込みは、10分で満員になるのが凄い！ ・「利用者の声」のコーナーを設置し、より良い施設にしようとしている ・室内運動場は砂ほこりが少ない砂を使用 → 人々に優しい！ | |
| 施設を活用してやってみたいこと | <ul style="list-style-type: none"> ・中高生の運動や遊ぶ施設として活用したい！ ・夏祭り・記念祭・花火大会などの夏・冬の休みの行事関係 | |
| より効果的に活用してもらう為の工夫・改善の提言 | 設備・ハード面 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通が不便→専用バスの本数を増やし、乗り降りができる場所も増やす ・自然に近いので危険性が高い→虫や動物などに注意をうながす標識をたてる ・土地が広いのに売店が少ない→売店を増やす、自動販売機を設置する ・敷地が広いので分かりにくいので、案内板をいろいろな場所に設置する ・荷物を管理する場所がない→コインロッカーなどを設置する ・トイレの数が少ないので増やす |
| | 内容・しくみ・ソフト面 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用料金が高いので、中高生が利用しやすいように割引(半額 Week)などを設ける ・中高生を参加者とする大イベントの開催を！ ・中学・高校に施設やイベントの案内プリントを配布する！ ・室内施設のPRが足りない→ルールを書いた案内板を施設入口に設置する ・温かいお茶しかなかった→冷たいお茶も用意する ・屋内プールの指導者がいない→泳ぎ方を指導する指導者などが必要 ・イベントが少ないので、夏休みの自由研究など星空観察会などできるようにする ・芝生の水やりが大変とのことなので、ボランティアを募集して行う |

| | | |
|----------------------------|--|---|
| 施設名 | ⑦鹿児島市観光農業公園 (グリーンファーム) | |
| 施設を見て感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・自然を利用して農業や畜産について学ぶことができる施設 ・繁華街から車で1時間ほど。山の中で広大で比較的寂しい場所(行きにくい) ・「農産物直売館」では変わった食べ物が売られていた ・オープンから述べ9万人の利用者。(しかし、中高生はその内の1.4%のみ) | |
| 施設の目的や方針を聴いて感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・20種もの鹿児島の特産物などを主に栽培 ・身近で新鮮な野菜を食べられる ・Concept →「育てる・楽しむ・味わう・学ぶ」を達成させるための施設 | |
| 施設の活用状況プログラムで関心や興味があったもの感想 | <p><4月-10月> 8:30~18:00 <11月-3月> 9:00~17:00 12/29~1/1休</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園料は無料だが施設を利用に(100円~7800円) 体験参加料(100円~1000円) ・乗用車約200台、バス8台が駐車可能 | |
| 施設を活用してやってみたいこと | <ul style="list-style-type: none"> ・学校と協力して生徒たちが農業の体験をする。(宿泊学習はどうだろうか?) | |
| より効果的に活用してもらう為の工夫・改善の提言 | 設備・ハード面 | <ul style="list-style-type: none"> ・敷地が広いので移動が大変→電動カートやセグウェイ、馬車で園内を移動できるようにする ・交通が不便なので、喜入駅からグリーンファームまでの専用バスを作る(緑色のバスなど) ・園内だけで野菜を販売しているので、移動販売やデパートで販売・PRする |
| | 内容・しくみ・ソフト面 | <ul style="list-style-type: none"> ・園内のことや作物のことが、わかりにくいので、はじめての人やよく来園する人のために図鑑入りの案内を作り設置する ・去年の11月に開園したばかりというもあり、知名度が低いので広報紙をもっと配る必要がある ・中高生の利用者が少ないのでイベントなどで知名度を高める ・BGMが古い→現代流行っている曲などにする ・自然に関心を持ち、農業への興味を抱いてもらう活動の企画がほしい ・知名度が低い→面白くて印象に残るCMを作成し放送する、広告を大々的に張り出したりする ・年に一度農業祭を開く、馬を借りて乗馬体験ができるようにする ・中高生が行きにくいので、ふれあい体験などのボランティアを募集する |

Cグループの提言

- ⑧鴨池公園野球場
- ⑨鴨池公園水泳プール
- ⑩鹿児島アリーナ



| | | |
|------|---------|----|
| 市谷正美 | 城西中学校 | 2年 |
| 大野 燎 | 鹿児島玉龍高校 | 1年 |
| 潟山祐樹 | 鹿児島中央高校 | 2年 |
| 城下双葉 | 鹿大附属中学校 | 1年 |
| 村田 遥 | 鹿大附属中学校 | 1年 |

大和 たつ子 先生
塩川 由希子 サポーター

| | | |
|----------------------------|---|---|
| 施設名 | ⑧鴨池公園野球場 | |
| 施設を見て感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・広い野球場であるが、やや古くなっている ・清掃やゴミの分別が行きとどいていて、凄いと思った ・公共交通機関との連携が良い ・テニスコート、広く、使いやすそうな広場があることを知らなかった ・県民球場のサブ的な球場のイメージである | |
| 施設の目的や方針を聴いて感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人にもスポーツの楽しさをもっと知ってもらうために色々な努力をしているのだなと思った ・土日が高齢者がテニスをよくしているというのに驚いた ・ナイター設備がないので、日没以降は利用できない ・季節や状況に合わせて掃除を行っているのが良いと思う | |
| 施設の活用状況プログラムで関心や興味があったもの感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・韓国のプロ野球チームが、合宿に来ていて無料で見学できるのが良い ・高校野球以外は無料で観戦することができる ・利用の予約がインターネットで簡単にできること ・掃除が行き届いており、公共のルールを大切にしているところが凄い ・管理人は次に借りる方のためにも活動しているということ | |
| 施設を活用してやってみたいこと | <ul style="list-style-type: none"> ・広場で夏祭りなどのイベントを開く ・職場体験で、管理業務の体験をやってみたい | |
| より効果的に活用してもらう為の工夫・改善の提言 | 設備・ハード面 | <ul style="list-style-type: none"> ・照明(ナイター設備)を設置し、夜も利用できるようにする ・屋根(ドーム球場にする)雨の時にも利用できるようにする ・トイレを洋式にして、障害者用のトイレも作る ・テニスコートに休憩場を設置する ・広場に一部遊具を設置し、子どもが遊べるようにする |
| | 内容・しくみ・ソフト面 | <ul style="list-style-type: none"> ・広場やテニスコートの決まりごとを多くの人に知らせる、分かりやすいパンフレットを作成して配布する ・広場を無料開放の日を設ける(野球以外ではあまり利用できないため) ・市民球場利用の広告を作る ・韓国のプロ野球のキャンプが行われるときにプロ野球選手と市民との野球教室と文化的な交流をする→スポーツ交流と韓国の人との交流をするため |

| | | |
|----------------------------|--|--|
| 施設名 | ⑨鴨池公園水泳プール | |
| 施設を見て感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・H23年の4月に改修したため、新しく、キレイで、広い ・50m、25m、飛び込み、幼児用の4つのプールがある ・とても涼しく快適な環境だった ・1階に売店があり、水着も販売している | |
| 施設の目的や方針を聞いて感じたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民に水に親しみ、健康になって欲しいという願いがあるということ ・公式大会(国内・国際)の規準をクリアするように作られているということ ・電動で水深を変えることができるのが、凄い! ・多くの人に楽しく過ごせるように色々な工夫をしているのだと思った | |
| 施設の活用状況プログラムで関心や興味があったもの感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・色々な目的のプールがある ・プール使用する人で分けられていて、どんな年齢の人でも出来るスイミング講座がある(スタジオカルチャー・ダンス・ヨガなど) ・どのプールにも専用のプールがあって、実際に遊べるスペースが少ない ・飛び込み台は、競技用のためだけであった | |
| 施設を活用してやってみたいこと | <ul style="list-style-type: none"> ・飛び込み台使用のための水泳教室 ・ミニ水泳大会をひらく | |
| より効果的に活用してもらう為の工夫・改善の提言 | 設備ハード面 | <ul style="list-style-type: none"> ・飛び込みプールに休憩所(影のある場所)を設ける →飛び込みプールには観客席こそあるが、休憩所はないため ・スタジオの扉のガラスをすりガラスに変える →外側からスタジオの中が見えるので、利用者が集中できないため ・親子が一緒に遊べるようなプールスペースを設ける |
| | 内容・しくみ・ソフト面 | <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み時期は、休館日をなくす ・専用のプールスペースを減らす ・飛び込み台を一般にも開放する ・冬の料金を下げ、冬の利用者を増やす →季節による利用者のムラを少なくして、多くの人に利用してもらうため ・夏休み中は毎日利用できるようにする ・コースロープ(レーン)を外し、プールを自由に利用できる日を作る →コースロープを外した方がプールを広く利用でき、楽しめるため ・学校に広報誌を配布する →プールでの催し物があることを知らせるため |

| 施設名 | | ⑩鹿児島アリーナ |
|----------------------------|-----------|--|
| 施設を見て感じたこと | | <ul style="list-style-type: none"> ・とても大きく、広くて使いやすいような施設 ・中もとてもキレイで、清潔感があり、豪華な感じがした ・照明・音響操作室に機械がたくさんあって、ワクワクした ・体育館だけでなく多種目ができるように武道・弓道場があり、驚いた ・施設内の所々に自動販売機が置いてあるのは良いと思った |
| 施設の目的や方針を聴いて感じたこと | | <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島市スポーツ推進計画の実施 ・どのような角度から観ても良く観えるように円形なのが素晴らしい ・種目に応じて観客席の変更ができる ・ニュースポーツの道具の導入 |
| 施設の活用状況プログラムで関心や興味があったもの感想 | | <ul style="list-style-type: none"> ・他種目のスポーツができるだけでなく、コンサートやワールドカップバレーボールなどの大会もできる ・トレーニングジム、スタジオ、喫茶店などもあり、施設が充実していた 専用使用と一部使用に分かれている ・高校生は自由に使用できるが、中学生は保護者や指導者が同伴でないと使用できないのが、残念 ・スポーツ用具は、自分で持ち込む |
| 施設を活用してやってみたいこと | | <ul style="list-style-type: none"> ・中高生が月に1回集まれる場所にして(あいご会のような)活用する ・武道やダンスに活用したい ・体育館を音楽関係でも活用したい ・中高生を招いて、場内見学会を開いて知ってもらう |
| より効果的に活用してもらう為の工夫・改善の提言 | 設備ハード面 | <ul style="list-style-type: none"> ・観客座席をもっと増やす ・体育館に音響設備を設置し、スポーツ以外での利用も促す ・みんなが使える用具を予め置いておき、貸し出せるようにする ・広くてどこに何のスポーツをする場所があるのかわからないので、案内板の数を増やす |
| | 内容しくみソフト面 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の使い方を明記する ・武道場、弓道場は、初めての人には敷居が高いので、講習会を開き、そのための用具を貸し出す ・中学生もたくさん利用できるようにイベントなどを増やし、宣伝する ・より多くの人に使うため使用料を安くする ・定期的に中高生のみで集まって、アリーナ全てを usable にする 「中高生の日」を作る→具体例:出身校対抗のスポーツ交歓会、カラオケなど |

6. 子どもミーティングに参加して

【A グループ】

○鹿児島中央高校 2年 ^{かしま} ^{しょうた} 鹿島 頌太

今回の子どもミーティングに参加して失礼な話、鹿児島の街はもったいないと思いました。

それぞれの施設はとても素晴らしい物なのに知名度が低いために活用されていないということがあったり、施設ごとの連携が取れていたらもっと便利になったりするのになというのがあったりしたからです。東京の「ゆう杉並」の例を見て自分は鹿児島もこうだったらいいのに、と思いました。「ゆう杉並」は生徒による生徒のための施設です。鹿児島も市民の立場になって市民のために施設を運営してくれればと思いました。これから少しずつ市民と施設、施設間の繋がりをより良くして自分たちが大人になって鹿児島の街を支える立場になった時、この「子どもミーティング」での体験を活かし、そしてその繋がりを大切にしていきたいと思います。

○南中学校 1年 ^{しのつか} ^{あいみ} 篠塚 愛実

人と関わることをきらう私が二日間つかれたけど楽しめたのは進歩だと思いました。

一日目は午後から歩いたりバスにゆられたりして見に行った四つの施設を回って、改めてどういふところを改善したほうがいいのか考えるのは難しかったです。

二日目は発表するのが案外楽しかったです。

来年もやるんだったら知り合いも誘ってみようと思います。

○城西中学校 2年 ^{ひご} ^{よしとも} 肥後 佳知

僕は、子どもミーティングに参加して四つの事を思いました。

一つ目は、もっと色々な施設を見てみたいと思いました。今まで知らなかった施設もあったし、中高生の視点からだ、改善点がある施設も多かったからです。二つ目は、久しぶりに発表するのが楽しかったことです。見学は面倒くさかったけど、まとめている間の一体感がすごく良くて、とても楽しかったからです。三つ目は、それぞれの意見を出し合えたことです。しかも、その意見を市長に提出すると聞いて、ドキドキしています。最後に、「ゆう杉並」のような中高生の娯楽施設も、つくりたいと思いました。また参加したいと思います！

○鹿児島大学附属中学校 1年 ^{みうら} ^{わかば} 三浦 若葉

鹿児島市をもっと知りたい。私はその一心で、子どもミーティングに応募することを決めました。

私は、子どもミーティングに参加することで、得たものが三つあります。一つ目は、発想力・考える力です。グループで話し合う時には、積極的に意見を出すことができました。二つ目は、仲間と協力する力です。前回、グループで発表を成功させた時は、とても嬉しかったです。三つ目は友達です。みんなそれぞれ学校が違うのに、日を追うごとにどんどん仲良しになれて、良い時間でした。私はこのミーティングを通して、自分の住んでいる街のことをさらに知ることができました。この経験をさらに生活に活かして過ごしていきたいです。

○鹿児島大学附属中学校 1年 ^{やました なつき} 山下 夏生

私は始め、子どもミーティングについてよく知らずに応募した。きっとつまらないのでは、というイメージを抱いて。

当日、それでも緊張して聞いた話には私は驚いた。中高生のための施設「ゆう杉並」。鹿児島市にはこういった施設や、中高生のための取り組みもあまり活発ではない。

「こんな施設があったらいいな。」から、私は自分の意見により考えが深まり、私たちにも関係ある市政策に、とても興味が湧いた。

また、自分と交流のない学校や年上の方、大学生の先生方と話し、「そんな見方もあるのか。」などの発見ができた。この交流できっと私の知識は広がっただろう。

とても多くの発見ができたこの政策、また参加したい。

【B グループ】

○鹿児島高校 2年 ^{いりえ つよし} 入江 剛

今回の「子どもミーティング 2013」に参加して、僕は市内の施設を見学して、「鹿児島市にこんな施設があるから人が元気でいられるんだ」と思いました。しかし、どの施設も運営コストや入館が少なかったりと様々な問題をかかえています。どの施設もすばらしいものだったので、このすばらしさをたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。知ってもらえればたくさんの人が来て、この鹿児島市はもっともっと豊かで発展した市になると思います。なので、自分なりにどうすればよりよい場所になるか考えてみました。この考えが市の発展につながると嬉しいです。

○鹿児島女子高等学校 3年 ^{かみはた ひろえ} 上畠 大愛

今回子どもミーティングに参加させていただいて、今までとは違った視点で見ることが出来ました。子どもだからこそ言える意見があって、気づく点も様々で、参加して良かったと思えました。中学生から高校生、大人の方々など幅広い年齢層でしたが、一人一人が責任を持って行動して、サポートしあっていて、チームワークも良かったですし、色々とお話することができて楽しかったです。今回の活動を通して、今よりもさらに鹿児島が発展することを願っています。色々な施設が、多くの人に利用しやすくなって、鹿児島が人であふれるものになってほしいです。

○鹿児島大学附属中学校 1年 ^{くわしろ あきほ} 桑代 明歩

「楽しそうだな。」私は、最初に子どもミーティングの案内を見て、そんな風に思った。

実際に参加してみると、その予想は大当たりだった。東京の中高生が中心となって運営をしている「ゆう杉並」とは、一体どんな施設なのか。私は、実際に施設の運営を経験した方から話を聞いたり、活動しているときの写真を見たりした。写真の中のみんなが明るく生き生きとしていて、いいなあと思った。また、鹿児島市の施設をめぐって、どんな工夫がされているか調べに行った。

今回、私は子どもミーティングを通して、さまざまなことを学んだ。この経験を、これからの生活でも活かしていきたい。

○鹿児島女子高等学校 3年 ^{すえはら}末原 ありさ

私は、今回の子どもミーティングに参加して鹿児島のことについてより深く知ることができたと思いました。前回行ったことのある、未来館やふれあいスポーツランドを違った面から考え見ることができ、また他の中高生など自分とは違う意見を持ち合わせていて、話し合いの場や発表の時に内容が深まっていくのを実感することができました。

今回の話し合いで出た、それぞれの施設の良い点や改善すべき点を見直し、もっと市民が利用しやすくなれば良いなと思いました。

また、参加したことによってより鹿児島のことをえ考え、他の中高生と交流することもでき、よい経験になりました。

○鹿児島玉龍高校 2年 ^{すぎ さいか}杉 采香

今回、私がこのイベントに参加したきっかけは、自分の高校で所属している生徒会でした。始めは自ら参加する、という人がいなかったので私が手を挙げて私の参加が決まりました。しかし、今思い返してみると、あの日手を挙げていて本当に良かったと感じます。

東京都にある、私たちにとって夢のような施設が存在し、しかもその実行委員の方のお話で夢がよりリアルに身近に感じました。

次に鹿児島市の施設を巡り、中高生の自分たちならではの意見を持ち発表しました。意見を出し合いまとめて発表するというのは、本当に自分にとって新しい刺激になりました。この声が市に届くということで、とても貴重な体験になったと思います。ありがとうございました。

○鹿児島大学附属中学校 1年 ^{なかざわ ゆうや}中澤 佑哉

この企画、初めて知った時の印象。「難しそうな企画だ。」

図書券がもらえることに釣られたこともあり、参加しました。時間が九時から十九時までであることもあり、逃げ出したいくなりましたが参加しました。

しかし、市政に意見を出すということは難しくありませんでした。自分の視点で施設を見て、問題点を探す。それだけのことでした。

このミーティングに参加して、たくさんのことを学ぶことができました。市政に関わるのはそう難しくないこと、一人一人が世の中のことを考えることが大切なこと、そして子どもでもできることがあるということです。これからの世界についても考えてみたいです。

○鹿児島大学附属中学校 1年 ^{ふくもと ゆきの}福元 千乃

「市長さんに提案できるんだって。」その一言から子どもミーティングに参加することを決意しました。最初は、知らない人ばかりで緊張していたけど、たくさんの方の友達を作りながら、提言書作成まで、様々なことをこなしました。初めて行った施設について改善点を出して、意見交換をしたり、発表内容をまとめて、実際に発表を行ったりしました。特に心に残ったのは、自分の意見を市長さんに提案できるということです。自分の意見で鹿児島がもっとより良くなることを想像するとワクワクします。こんなに良い経験をさせてくださったスタッフのみなさん、ありがとうございました。また参加したいと思いました。

○鹿児島中央高校 1年 ^{へきぞの} 邊木 蘭 ひかる

私は担任の先生に勧められ、この子どもミーティングに参加した。

東京都から来られた方々のお話を聞いたり、施設見学で喜入まで行ったりと個人では難しい経験ができ、とても有意義で濃い一日だった。私と同年代の人が施設の規則を決めたり、行事を運営したりしている話を聞き、鹿児島にも似た仕組みの施設があるといいのに、と感ずることばかりだった。この経験を通して、中高生の私たちが現状を知り、ここはこうしたい、やってみたい、と意欲的になることが大事だと感じた。行動に移すにも、意志が必要だ。将来鹿児島を支える私たちの意志があればより良い方向へ行けると考える。今回学んだこと、感ずたことを自分から発信していきたい。

【Cグループ】

○城西中学校 2年 ^{いちたに まさみ} 市谷 正美

私は最初、企画を聞いた時、自分にこんなことができるのかととても不安でした。でも、グループのみんなや担当の先生方にいろいろなことを教えてもらい良かったです。私のグループは全て運動関係の施設で、自分が普段行かないところのことを知れて楽しかったです。また今回は年齢の違う人と協力して活動したのですが、二日という短い時間で仲良くなってうれしかったです。今回の子どもミーティングでは、新しい自分を知れたり、自分の住んでいる町の施設のことを知れてとても面白かったです。東京から来てくださったゆう杉並の方々のお話はとてもためになりました。ありがとうございました。

○鹿児島玉龍高校 1年 ^{おおの りょう} 大野 燎

今回この子どもミーティングという企画をまったく知らずに参加しました。本来その企画の目的ぐらいは知って参加するべきなのだろうと思いますが、突然学校で選ばれて行く形になったのでそれすらも知りませんでした。けれど、子どもミーティングに参加して僕はとても良い体験になりました。自分が暮らしているこの鹿児島市にどのような施設があり、どのような目的があるのか知ることができて、まだまだ自分の知らない鹿児島をたくさん見ることができました。今後もこのような企画に積極的に参加し、自分の知らなかったことを見つけられるようにしていきたいと思います。

○鹿児島中央高校 2年 ^{がたやま ゆうき} 瀧山 祐樹

今回私は「子どもミーティング」に参加し、とても充実した二日間を送ることができました。初日のスポーツ施設の見学では施設の使われ方等の説明を受け、二日目のまとめの作業では自分達の提言をまとめ、発表を行いました。自分達の意見をまとめ、発表するという事は思った以上に大変でしたが、自分達の考えたことを他の人に伝えるということはとても大切なことであるなと思いました。中高生の視点からの提言であったため、なかなか実現しにくいものもあると思いますが、自分達の提言が少しでも活かされれば良いなと思いました。最後に塩川さんをはじめ多くの方のおかげでまとめ・発表まで行うことができました。本当にありがとうございました。

○鹿児島大学附属中学校 1年 ^{じょうした ふたば} 城下 双葉

私は今回初めて「子どもミーティング」に参加して、鹿児島市を活性化させていくにはスポーツも一つの手段だと思いました。いろいろな施設を見学することでより市民にスポーツに興味を持ってもらえるようにと裏で支えていることが分かりました。より鹿児島市でスポーツを盛んにしていくために、私は鹿児島アリーナではあまり中高生が気軽に利用している印象がなかったので、定期的にアリーナに集まる「中高生の日」という日を作るなどを提言しました。

スポーツをすることで人々がつながり、「スポーツの市といえば鹿児島市」といわれるぐらいになればいいと思います。

○鹿児島大学附属中学校 1年 ^{むらた はるか} 村田 遥

私は「子どもミーティング」に参加しようと思ったのは、担任の先生にすすめられたからです。「どんなことをするのだろう。」とワクワクしながら、第一回目のミーティングに参加しました。「子どもミーティング」に参加する人数は二十人です。私もその一人に入ることができました。グループの人達は、とても優しく、また面白かったので、すぐに仲良くなることができました。

第二回目のミーティングもとても充実した時間になりました。

始めは、「中学生が意見を伝えることができるのかな。」と思っていたけど、本当にできるので驚きました。これからも続けていってほしいです。

